

地域、地元・港湾関係者、下関を想う皆さまへ

日ごろより大変お世話になっております。下関港湾事務所長の門井です。

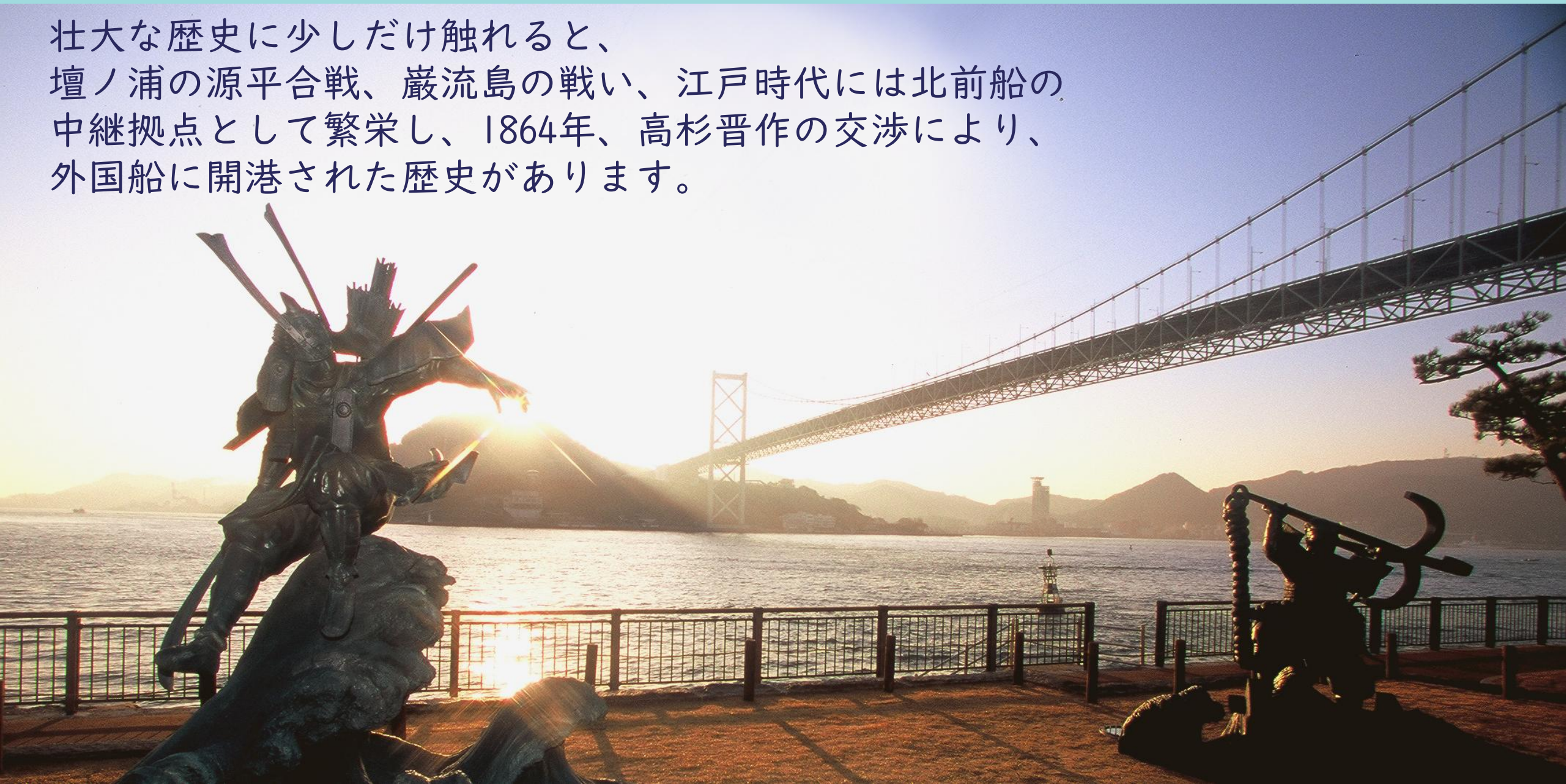
このたび、下関港（港湾管理者：下関市）がポート・オブ・ザ・イヤー2026（（公社）日本港湾協会）にエントリーしたことを受け、

拙筆ながら、下関港の魅力や発展性を
応援メッセージとして、したためたいと思います



下関港は、関門海峡に位置し、海上交通の要衝として発展してきた港です。

壮大な歴史に少しでも触れると、
壇ノ浦の源平合戦、巖流島の戦い、江戸時代には北前船の
中継拠点として繁栄し、1864年、高杉晋作の交渉により、
外国船に開港された歴史があります。





近代の港の形としては、
1905年に、下関と釜山とを結ぶ
関釜連絡船が就航し、日本最大級
の国際フェリー拠点である現在の
姿へとつながっています。

着任以来、地元の方々とお話しさせていただく中で、
私は、皆さんが語る故郷・下関の原風景の一つには、日々の暮らしに、
海峡のある街が息づいていると感じます

下関を想う皆さまと心を一つにして、**ポート・オブ・ザ・イヤー**の高みを
目指す下関市を全力で応援していければと思います！

それでは、既に多くの方が発信されている、
最近の下関港の話題を紹介します。



**“経済社会を支える”下関港の
輸出額は2年連続1兆円超。**

**特に韓国・中国向けの半導体
製造装置の輸出が好調
(海上輸送シェア国内港1位)。**



**“長州出島”分譲地 (約14.5ha)
の売買契約が成立。**

**新たな産業の立地 (造船
業) により、約1000億円の
投資、雇用創出などを見込む**

下関市が“**全国クルーズ活性化
会議**”の会長港として、クルーズ
関係者の集う総会を地元開催。

**令和8年は、コロナ禍以降最多
の33隻が寄港予定**



**“脱炭素社会に向けたみなと
づくり”を推進**

**LNGバンカリング (Ship
to Ship方式) の実績多数。
LNG供給の拠点化が進む**



今まさに、同市が掲げる
“日本を代表するウォーターフロントシティ”への期待も一層高まっています！



観光面でも、活況を見せる唐戸市場に
隣接するあるかぽーと地区において、2025年に
デザイナーズホテル「リゾナーレ下関」が開業する
とともに、多くの市民・観光客で賑わう水族館
「海響館」もリニューアルオープンしました。

背景画：「あるかぽーと・唐戸エリアマスタープラン（下関市，2023年2月策定）」より引用

結びに、関係の皆さまにおかれては、ぜひこの機会に、
ご家族や友人に港との関わりやエピソードなどをお話しいただき、
海峡のある街・下関港の魅力を
広く発信いただけましたら幸いです。

ポート・オブ・ザ・イヤーに向けた温かいご声援、
どうぞよろしくお願いいたします。



下関港湾事務所長
門井 勇樹